

64.9

No. 15

発行 三股町
編集 総務課

9月15日~21日は老人福祉週間です。
老人をよくいたわり、よく話し合い、家庭では役割りをあたえ、お互いに理解し尊重し合って、楽しい余生をおくるようにつとめましょう。

広報みまた

黒木知事、三股町を現地視察



農業構造改善事業を現地に見る知事

三股町の農業構造改善事業は昭和三八年度に着手、目下第二年度に入り、私達農民が私達農民の為に、もうかる農業をめざして、その事業の遂行に全力を挙げております。
その企画と推進状況は熊本農政局管内でも屈指の、いや第一の優良町村として、広く注目を浴び、九州管内は勿論、四国、中国地方からも、その視察団が後をたちません。

農業構造改善事業は 農業革命の先駆である

去る八月二十六日、県知事が来町、早速町長より農業構造改善事業の推進状況等説明を聴取、ただちに現地に出向き、先ず小鷹原区画整理地区、ついで餅原区画整理地区を視察、幹線、支線道路によって区切られた整然たる整理状況を見て、「よくぞしてやった」と何回となくうなづいておりました。

出迎えた地区農民代表に対して、整理前との比較、労働力、機械利用、協業化の状況、飼料栽培の問題など、ことごとく質問し、或いは意見を聞くなど、さすがは農政通をもつてなる知事の面目躍如たるものがありました。更に酪農家(別府

農政への 意欲見せる

池)、集乳所(前目)など熱心に視察しました。最後に役場に帰庁「国の政策も農業のひずみ是正に力を注いでいる。」

次夫氏宅)を訪問「しつかり頑張って下さい」と激励をおくり、そして粗乾燥施設(蓼

農業構造改善事業は農業革命の先駆である。農業基盤の整備がなったら、基盤に対応した官農指導と共に、農民が愈々やる気を旺盛にして、その省力化、協業化の方向に努力するならば農業近代化は必ず成功し、そして富める農村は実現する」と力説して、農政への強い意欲を見せておりました。

としよりに 明るい希望を

九月一五日は老人の日

孫たちと共に楽しく



喜びと期待の中に

小山建設大臣来町

「おめでとうございませう」互いにほころびて
 第三次池田内閣の建設大臣に就任、晴れの郷土入りした小山建設大臣は去る八月九日米町。白バイ、バイクを先頭に多くの随行人を伴って、一五時一〇分、歓迎の打上げ花火とともに役場に到着。「歓迎小山建設大臣」と大書したアーチの門をくぐって、待ち受けた観衆の「ようこそ小山建設大臣」の喜びと期待の歓声と拍手に迎えられて、歓迎場の三股小講堂に入場。壇上にて花束を受け、顔もほころびて、連日の強行軍の疲れも見せず、その喜びはおおいかくせない。

「私の建設大臣就任は、ただひとえに皆様方の絶大な御援助のたまものであります。私は在任中に、だれでもが続けてゆけるような建設行政を推進してゆきたい。とくに地方道の整備促進と住宅政策については勤労者住宅と共に中小企業者の住宅建設についても大いに力を注ぎたい。農村問題については国務大臣として従来どおり積極的にとりかかると強い決意の程がうかが



郷土の声援に 応えて

自 民 党

瀬戸山副幹事長も来町

農業・中小企業の ひずみを是正する

最近実力者として、政界に重きをなし、この程自民党副幹事長の要職に就任、その活躍が期待されている瀬戸山氏が来町、

「今までの政府の経済政策は大都市、大企業中心の傾向が強く見られた。当然の結果として、今日のよう



の政治に活を入れ、農業と中小企業の建直しを強力に推進して、経済のアンバランスを是正するなど、大いに国民の期待にこたえたい。」とその決意を語っており

都市計画・河川改修・道路改良等

要望事項は必ず実現する

又町長が代表して要望事項を提出、理由説明を行ないました。が、「要望事項についてはその実現に努力す

われました。本県出身の建設大臣による喜びと期待の中に「先生、おめでとうございませう

バス運行促進を決議

都城・日南間坂元線道路整備促進大会

県道坂元線は三股町を縦走する唯一の幹線道路として、動脈としての役割をなす。この切実な願いを早急に実現するために、先般都城三股、日南、北郷の市町当局並に議会議員等多数が参加して、坂元線道路整備促進大会が開かれました。

活潑な討議の後、「県道坂元線の早期改良補修を期し、バスの運行開始を促進する」の決議がなされ、これを小山建設大臣並に県知事に強力に要望することに

結核、精神障害も 障害年金がもらえる

国民年金法が改正

今回国民年金法が改正され、障害年金の支給範囲が拡大されました。今までは外部疾患だけが年金の支給対象となっておりましたが、九月から次のような病状の人にも障害年金が支給されることになりました。

結核及び換気機能障害関係
 ①結核疾患による身体の機能障害者、②結核性疾患により、長期にわたり安静を必要とする病状の人、③非結核性疾患による呼吸器の機能障害。

以上三つの内いずれか

都城商工高校が 植木(町農場跡)に開校

明治のはじめ、当時の地頭三島通庸公は「鹿児島より教師を招へいして、子弟の教育を大いにこたえたい」と記録にありますが、以来今日に至るまで「文教の町三股」として近隣にその名を高め、「先ず子弟の教育を」の思想は連綿として受けつがれております。

このような中に、都城商工高校が町農場跡に、敷地四、五〇〇坪、校舎七教室(二〇〇坪)が完成、九月一日(二学期)より開校しました。

現在生徒数二六三名、近く認可あり次第、学校教育法第一条に基づく高校として発足、生徒数は男子四五〇名、女子六〇〇名、計一、〇五〇名の実業高校として拡充整備されることになっております。

このように立派な高校が



完成した校舎

病状により、初めて医師の診断を受けた初診日から三年を経過し、現在日常生活の用を弁ずることが不能な状態にある場合に限り該当します。

精神障害関係
 ①精神分裂病 ②そううつ病、③非定型精神病、④てんかん、⑤中毒精神病、⑥器質精神病。

但し、精神病質及び神経症並に精神薄弱によるものは該当しません。

以上六つのいずれかの病状により初診日から三年を経過し、現在その障害程度が日常生活にいちぢるしい制限を受けているか、或いは制限を加えることが必要な状態にあるものに限り該当します。

このように改正がなされましたが、いずれかに該当すると思われる人で昭和三九年八月一日現在において満二〇歳以上満七〇歳未満の方は保護者又は代人をして役場年金係に印鑑持参の

無料法律相談所 毎月、一日に開設

心配ごとなど 遠慮なくおいで下さい

離婚、扶養、境界問題、財産関係、人権侵害、金銭貸借問題等で、法的に常識のないために不当な損害を受けている人はありませんか。すでに手のつけられない事態になってからは、ことはめんどろで解決にも時間がかかります。

本町の人権擁護委員会は右のような手おくれにならない前に早急に相談を受けて、迅速適正な解決に導くことを目的として無料法律相談所を毎月開設し、町民の皆さんの心配ごとの相談に

無料法律相談日
 毎月一日 一〇時より一六時まで、但し日曜、祭日の場合は二日になります。

三股町人権擁護委員は左記の方々です。
 上原平二、二宮邦彦、長尾イワ

岡、前目部落内の改良、国道たて池、前目間及び

志をいだいて米国に渡り大陸の土に懸命に、いどんでいる農村青年が本県には一八名、本町の上原、見玉の両君もこれに加わり、日夜健闘を続けておりますが先に全

加州の農場の風景など、スライドに見入る家族の人達は、ほっと胸をなでおろし、残された一年有糸を我々も必死に頑張つて、晴れの帰国の日を待とうと励ま

派米労働者 上原の両君

元気に活躍中

現地を訪れた江藤氏が家族を慰問

この程 来町本町出身の上原

見玉両君の留守家族に現地

の状況などを紹介慰問しましたが、話しによりますと、「米国は農家のほとんどが百町歩以上の耕地を有している。派米労働者はそんな農場で米国の農業をみっちり研修しながら懸命に土に

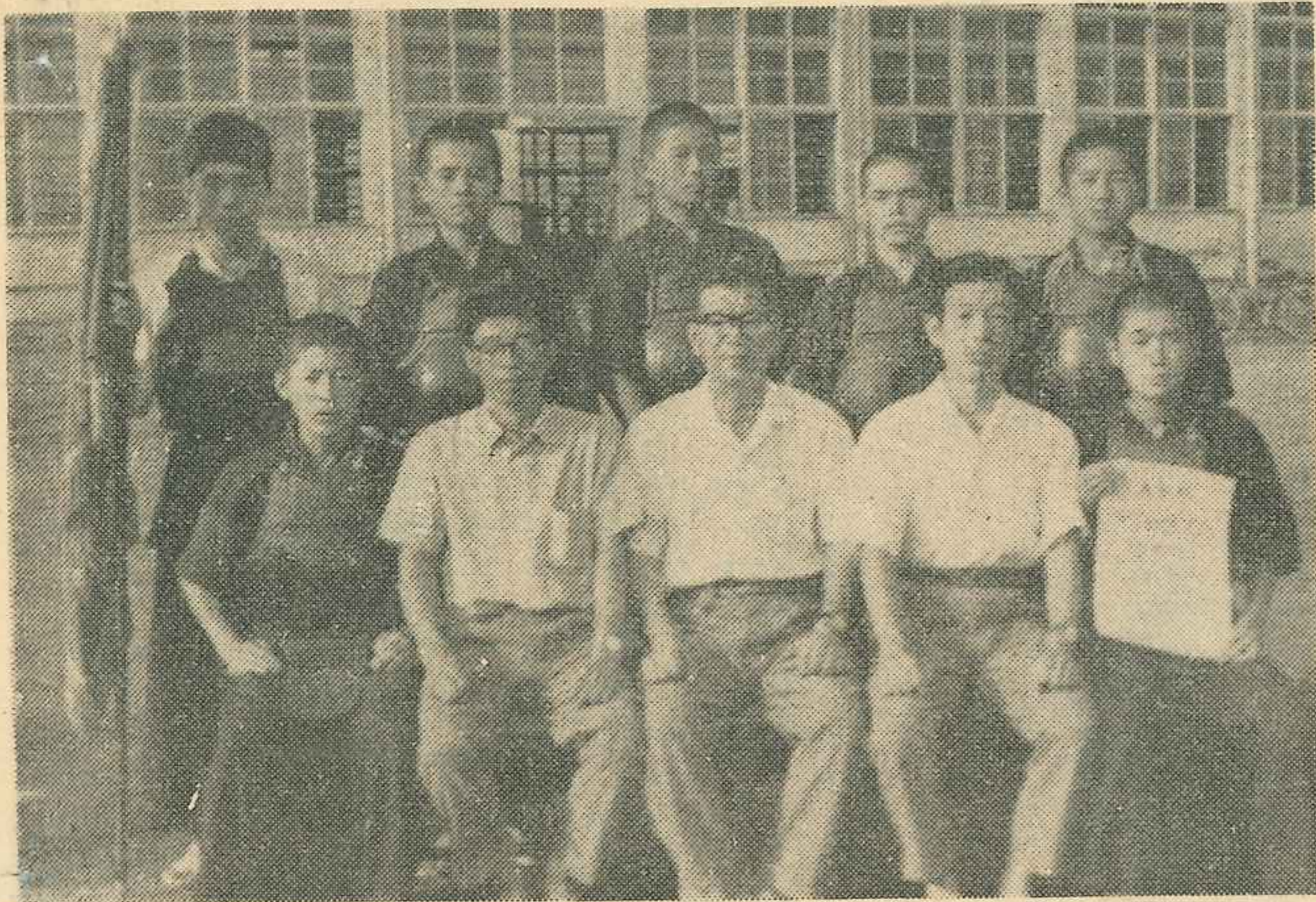


晴れの帰国を待つ留守家族

県ジュニヤ大会

三股中 二年連続優勝 剣道部

個人優勝に隈元雅博君が



夢を実現した三股中少年剣士達

「ジュニア大会において、いや町を挙げての合言葉となつております。三股中剣道部は、すでに過去二年連続優勝をかざり三股中の名は、つとに内外に高められております。この輝やかしい伝統を受けついで、不断のたゆまざる猛練習のかいあって、今年も郡予選の難関を突破、晴れの県大会に出場しました。県大会においては「三股健児ここにあり」と道場もわれんばかりに、その若さと意気をたたきつけて堂々と勝負にいどみ、遂にだれもがなし得なかつた三年連続優勝の偉業を打ち立て、その名を県下にとどろかしました。

今回まですでに六回出場

はじめの三回は不運の涙をのんで退場しましたが、「いつかは必ず優勝を」を合言葉に、猛練習を重ね、遂に昭和三十七年にその望みを果たし、ついで昭和三十八年、そして又今年度と連続三カ年の選手権を掌中におさめたわけであります。それに加えて本年度の大会においては、隈元雅博君が気力充実、心技一体となつて、一戦毎にその太刀さばきは愈々冴えて、堂々と勝抜き、遂に難事中の難事と言われる個人優勝の栄冠を得て満場の喝采を浴びました。

また鶴戸神宮大会においても三年連続優勝を実現して、現在県内優勝記録を保持しております。

三カ年間の予定で米国の農業を実地に研修し、働いて得た資金で、帰国後の農業近代化営農資金にしようとして米大陸に渡米している上原弘義君（上原平二氏の二男）からこの程、町宛に便りがよせられました。

はるか異国の地にて母国を想いながら、大地を相手に一生懸命頑張っております。その便りと共に町立養老院のおとしよりと三〇ドル（一万八〇〇円）が届けられました。

「ここにその便りを紹介いたしましょう。」

はるか

米大陸にて

母国を想う

上原弘義君より

愛の便りと送金

「はるか異国の地にて、ただひたすらに郷里を愛し、想いながらはげんでおる同君と、同君が無事目的を達成して帰国する日を一日千秋のおもいで待つておられる御家族の御健康を、心からお祈りしたいものです。」

「光陰矢の如し、渡米してよりすでに一年有余、はるか西の空を見つ

このようにして、先輩の努力によって築かれた輝やかなしい伝統を立派に受けついで、愈々心身の鍛錬に一段の精進を続けております。

有難うございました

左記の方々からそれぞれ寄附をいただきました。この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

- 一般寄附
- 一、金 一五〇〇円 桑畑孝雄さん、公さんの兄弟
 - 一、金 九〇〇円 匿名の一女性
- 忌明寄附

- おくられた金 亡くなられた人 おくられた人
- 一金 五、〇〇〇円 小倉 愛二 小倉 忠
 - 一金 二、〇〇〇円 宮田 アイノ 宮田 重雄
 - 一金 一、〇〇〇円 満行 政次 満行 フジ子
 - 一金 一、五〇〇円 大重 綱衛 大重 キミエ
 - 一金 二、〇〇〇円 嶋田 常次 嶋田 エイ

都城信用金庫

三股支店が開店

装いも新たに



元三股郵便局を改造して九月一日より都城信用金庫三股支店が開店しました。新装なった信用金庫は広さ二四〇平方米、職員は支店長以下五名、「信用と便利をモットーにして工商業者は勿論、だれもが気軽に利用出来る。親しまれる皆様の信用金庫として大いに努めたい。」と海田支店長は語っております。

信用金庫は預貯金は勿論のこと、商工業者の建設、営業資金の貸出しに、或いは一般家庭の生活改善資金に大いに役立つものと広く歓迎されております。